

# 役員紹介

(2019年6月27日現在)



1. 小林 保清  
名誉会長

2. 小林 一俊  
代表取締役社長

3. 小林 孝雄  
専務取締役

4. 熊田 篤男  
専務取締役

5. 小林 正典  
常務取締役

6. 澁澤 宏一  
常務取締役

7. 小林 勇介  
取締役

8. 柳井 陸仁  
取締役

9. 戸井川 岩夫  
社外取締役

10. 菊間 千乃  
社外取締役

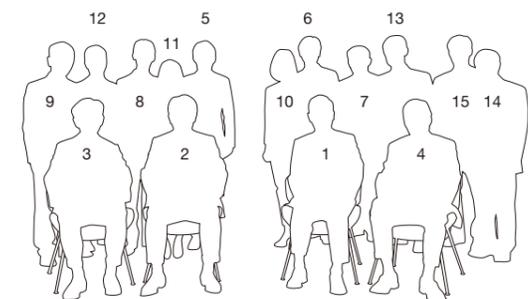
11. 湯浅 紀佳  
社外取締役

12. 鈴木 一弘  
常勤監査役

13. 松本 昇  
常勤監査役

14. 岩淵 信夫  
社外監査役

15. 深山 徹  
社外監査役



# 経歴一覧

(2019年6月27日現在)

## 名誉会長



名誉会長

小林 保清

1964年4月 当社入社  
1969年7月 当社取締役  
1976年3月 当社常務取締役  
1981年3月 当社専務取締役  
1991年6月 当社代表取締役専務  
1997年3月 当社代表取締役社長  
2007年6月 当社代表取締役会長  
2007年6月 コーセー化粧品販売株式会社  
代表取締役会長  
2014年6月 当社名誉会長(現任)

## 取締役



代表取締役社長

小林 一俊

1986年4月 当社入社  
1991年3月 当社取締役  
1995年3月 当社常務取締役  
2004年6月 当社代表取締役副社長  
2007年6月 当社代表取締役社長(現任)

〈兼職の状況〉  
株式会社アルビオン 取締役



専務取締役

小林 孝雄

1993年4月 当社入社  
1998年6月 当社取締役  
2005年3月 当社国際副本部長  
2006年6月 コーセーコスメポート株式会社  
代表取締役社長(現任)  
2013年6月 当社常務取締役  
2014年6月 当社専務取締役(現任)



専務取締役

熊田 篤男

1980年4月 当社入社  
2011年3月 当社執行役員、  
コーセー化粧品販売株式会社  
常務取締役  
2013年3月 コーセー化粧品販売株式会社  
専務取締役  
2013年6月 当社取締役  
2016年6月 当社常務取締役  
2019年4月 コーセー化粧品販売株式会社  
代表取締役社長(現任)  
2019年6月 当社専務取締役(現任)



常務取締役

小林 正典

2004年3月 当社入社  
2011年3月 当社執行役員  
2013年6月 当社取締役  
2017年6月 当社常務取締役(現任)



常務取締役

澁澤 宏一

1984年4月 当社入社  
2010年6月 コーセー化粧品販売株式会社  
監査役(現任)  
2011年3月 当社執行役員  
2011年6月 コーセーコスメポート株式会社  
監査役(現任)  
2013年6月 当社取締役  
2018年6月 当社常務取締役(現任)

〈兼職の状況〉  
株式会社アルビオン 取締役



取締役

小林 勇介

2000年4月 株式会社アルビオン入社  
2005年5月 ALBION Cosmetics  
(America), Inc. President  
(現任)  
2005年9月 株式会社アルビオン執行役員  
2006年9月 同社取締役  
2014年6月 当社取締役(現任)  
2017年4月 株式会社アルビオン 常務取締役  
(現任)



取締役

柳井 陸仁

1984年4月 当社入社  
2015年3月 当社執行役員  
2017年6月 当社取締役(現任)

〈兼職の状況〉  
Tarte, Inc. Director (Chairman)



社外取締役

戸井川 岩夫

1991年4月 弁護士登録  
2001年7月 戸井川法律事務所設立  
2006年5月 日比谷T&Y法律事務所設立  
(現任)  
2014年6月 当社取締役(現任)



社外取締役

菊間 千乃

1995年4月 株式会社フジテレビジョン入社  
(現 株式会社フジ・メディア・ホー  
ルディングス)  
2011年12月 弁護士登録  
弁護士法人松尾総合法律事務所  
入所(現任)  
2018年6月 当社取締役(現任)



社外取締役

湯浅 紀佳

2003年9月 弁護士登録  
2011年8月 ニューヨーク州弁護士登録  
2017年9月 早稲田大学ロースクール講師  
(現任)  
2019年1月 三浦法律事務所パートナー(現任)  
2019年6月 当社取締役(現任)

## 監査役



常勤監査役

鈴木 一弘

1984年4月 当社入社  
2011年3月 当社研究所メイク製品研究室長  
2015年3月 当社研究所参事  
2015年6月 当社常勤監査役(現任)



常勤監査役

松本 昇

1984年4月 当社入社  
2006年3月 当社需給コントロール部長  
2007年3月 当社コスメタリー企画部長  
2008年3月 コーセー化粧品販売株式会社  
営業企画部長  
2011年3月 台湾高絲股份有限公司董事長  
兼總經理  
2013年3月 当社総務部長  
2018年3月 当社執行役員  
2019年6月 当社常勤監査役(現任)



社外監査役

岩淵 信夫

1981年8月 公認会計士登録  
2014年7月 公認会計士岩淵信夫事務所設立  
(現任)  
2016年6月 当社監査役(現任)



社外監査役

深山 徹

1998年4月 弁護士登録  
2006年10月 深山法律事務所設立(現任)  
2019年6月 当社監査役(現任)

# 社外取締役メッセージ

## 「世界で存在感のある企業」に向けて

当社の大きな経営戦略目標として、「世界で存在感のある企業への進化」が掲げられています。当社製品のクオリティは世界トップレベルにありますが、社会環境の変化に柔軟に対応しながらも失われることのない、コーセーのコーセーらしさを深化させ、グローバルに受け入れられる普遍性を具現化したブランディングをすることが重要ではないかと考えています。このグローバルな展開では、ガバナンスや管理の体制整備、人材育成、そして、企業としての社会的存在意義から、当社が取り組んでいるSDGs経営が深く結びついていくと思っています。

取締役会においては、事前に適切な情報提供を受け、一般株主の目線から意見を述べていますが、コーセーらしさを築いた創業者の精神が活きている当社は、発展の可能性に満ちています。独立性を堅持しつつ、社内の取締役をはじめ関係部署の方々と適切なコミュニケーションをとり、当社の発展に貢献できるよう努めてまいります。



社外取締役  
戸井川 岩夫

## 化粧品を通じたエンパワーメント活動

コーセーの強みは人材です。各地の売り場に立ち寄ると、販売員の皆さんが、コーセーの製品を愛し、誇りを持って販売していることがよくわかります。研究所に伺えば、日々よりよい製品の開発に尽力しているたくさんの研究員の方がいらっしゃいます。ダイバーシティとは、性や人種の話だけではありません。多様な価値観を持つ個人を尊重することです。取締役として、サプライチェーンも含め、コーセーとかわる一人ひとりが自分の可能性を最大限発揮できる環境づくりに注力したいと考えています。それが結果として、よりよい製品のご提供につながると信じています。

また、グローバル企業を目指すにおいて、ESGの視点は欠かせません。かつて長期入院をし、色のない病室のベッドに縛り付けの日々の中で、久しぶりにピンクのリップを引いた時の喜びは、今でもよく覚えています。化粧品は生きる力を後押しする大切なアイテムでもあります。化粧品を通じたエンパワーメント活動を推し進めていきたいです。



社外取締役  
菊間 千乃

# コーポレート・ガバナンス

## ガバナンスハイライト



## 基本方針

コーセーグループは、経営方針の中核に「コーセーグループとしての企業価値を高める経営を継続して行く」ことを掲げ、事業の拡大と効率を追求した経営に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンスは経営上の重要な課題の一つであり、健全な経営を遂行する組織体制や仕組みを整備し、

継続的に社会的信用を保持するための体制づくりを進めています。

また、経営の「透明性」「公正性」を高めるため、株主、投資家をはじめ、債権者、顧客、取引先、従業員、そして地域住民・社会など、すべてのステークホルダーとの誠実なコミュニケーションに努め、信頼関係を構築しています。

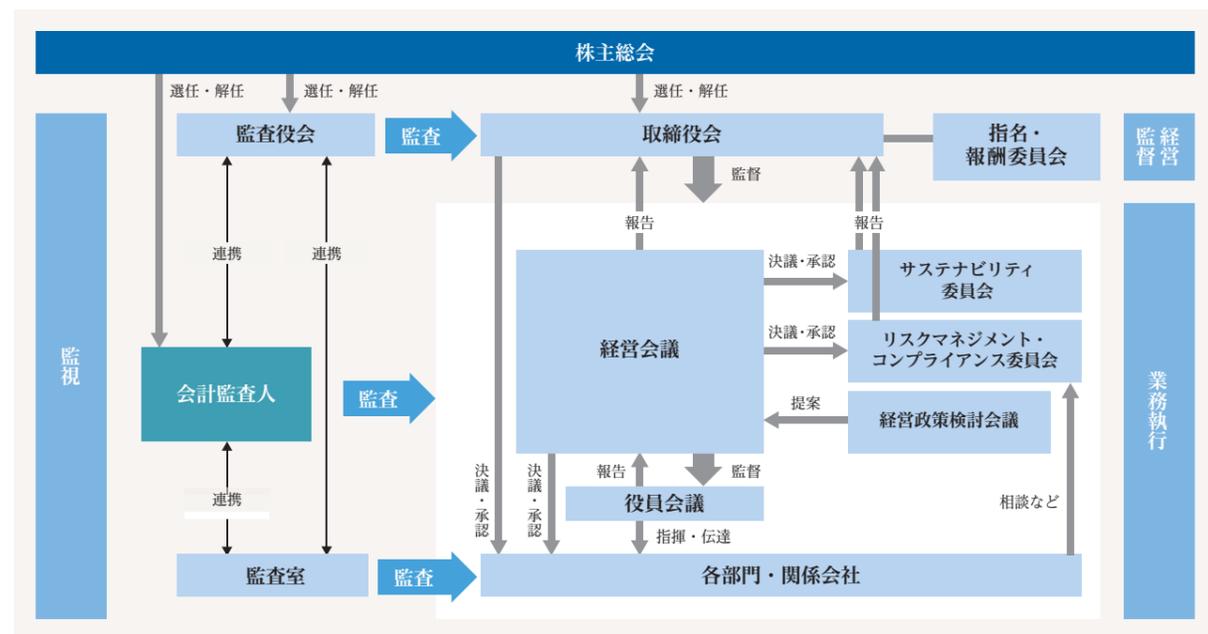
## コーポレート・ガバナンス体制

当社は監査役設置会社制度を採用し、取締役の職務執行の適正性を監査しています。

業務執行にあたっては、取締役会のほか、取締役社長が議長を務める経営会議、経営政策検討会議や役員会議などを機動的に運営し、迅速で効率的な経営を行っています。

また、メンバーの半数以上が社外役員で構成されている指名・報酬委員会を任意で設置しており、役員報酬、役員人事の妥当性を審議しています。事業に精通した役員による相互牽制に加え、独立性のある社外役員による監査・監督機能を有することは適切であると判断しています。

コーポレート・ガバナンス体制図



## 取締役会

取締役会は、取締役会全体としての知識、経験、能力のバランス、多様性、規模が最適となるよう努めています。

社外取締役については、高度な専門知識、豊富な見識を有していることを重視して指名しており、業務執行に対する助言、各取締役の監視・監督を行っています。

当社の業務執行は、取締役の管掌範囲を明確にし、少人数

による迅速な意思決定ができる体制としています。また、執行役員制度を導入しており、経営基本方針に従い担当部門において適切に業務を執行しています。

取締役会は原則として毎月1回開催し、法令および定款で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、取締役の職務執行を監督しています。

## 監査役会

社外監査役には豊富な監査経験や高い見識を有する弁護士、公認会計士を選任し、取締役の業務執行の監視・監督をしています。

監査役は、取締役会、経営会議などの重要会議への参

加、国内グループ会社の監査役との適宜連絡、内部監査部門および会計監査人との情報交換と意見交換、社内各部門および子会社への内部監査を定期的および必要に応じて実施しています。

## 指名・報酬委員会

指名・報酬委員会は、当社の取締役、監査役および執行役員の指名、報酬等に係る取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任の強化を目的とし、社長による取締役会への「指名・報酬等に関する提案」を審議する機関です。社外取締役を委員長とし、客観性を担保しています。

### 指名・報酬委員会の構成

委員長 (議長)	全委員	(内訳)		
		社内 取締役	社外 取締役	社外 監査役
社外 取締役	7名	2名	3名	2名

## 社外取締役・社外監査役

2018年度における主な活動状況・取締役会および監査役会への出席状況

役職	氏名	取締役会 (13回開催)		監査役会 (12回開催)	
		出席回数	出席率	出席回数	出席率
社外取締役	戸井川 岩夫	12	92%	—	—
社外取締役	菊間 千乃	11*	100%	—	—
社外監査役	村上 實	13	100%	12	100%
社外監査役	岩淵 信夫	13	100%	12	100%

\* 社外取締役菊間千乃氏は、2018年6月28日開催の第76回定時株主総会において選任されたため、取締役会の開催回数が他の取締役と異なります。

### 社外取締役の選任理由

氏名	選任の理由
戸井川 岩夫	弁護士としての高度な専門知識と企業経営における豊富な見識を有していることから、当社の経営に対する指導・助言や、独立した客観的な観点から経営の監督をしていただくため。なお、一般株主との利益相反が生じるおそれがないと判断し、独立役員に指定しています。
菊間 千乃	弁護士として高度な専門知識を持ち、特に企業法務における見識は高いものを有しており、また、マスメディア関連の経験より、広い視点で企業経営に対する指摘・助言や独立した客観的な観点から経営の監督をしていただくため。なお、一般株主との利益相反が生じるおそれがないと判断し、独立役員に指定しています。
湯浅 紀佳 (2019年6月就任)	弁護士としての高度な専門知識を持ち、その範囲は日本だけでなく、アジア・欧米にまで広がっています。特に中国においては、多くの執務経験を有しており、その豊富な知見による当社グローバル戦略に対する指摘・助言や、独立した客観的な観点から経営の監督をしていただくため。なお、一般株主との利益相反が生じるおそれがないと判断し、独立役員に指定しています。

## 取締役会の実効性評価

当社は取締役会実効性の評価につき、客観性を高めること、さらなるガバナンスの向上を図ることを目的として、今回、第三者機関を活用し、実効性評価を実施しました。評価方法・評価結果については、以下のとおりです。

### 1. 評価の方法

取締役および監査役に対し、下記の項目に関してアンケートを実施しました。

アンケート内容、集計および分析は第三者機関を活用し、その結果を踏まえ、取締役会において取締役会の実効性に関する分析と評価を行い、今後の対応について検討しました。

### 2. 評価結果および今後の取り組み課題

アンケートの結果を踏まえ取締役会にて議論を行った結果、社外役員への事前説明や取締役会での報告が適切に行われており、また、取締役会の規模や指名・報酬委員会の構成についても適切であると判断でき、全体としての実効性は確保されていると評価しました。

一方、将来的に取締役会のさらなる多様性を図ること、取締役会において経営戦略や子会社管理体制についての議論をより活発化させることについては、一層の改善の余地があるという認識に至りました。

これらの点を踏まえつつ引き続き積極的な取り組みを行い、取締役会の実効性をさらに高め、当社グループの企業価値向上を図っていきます。

### 質問項目

I. 取締役会の運営体制	II. 取締役会の監督機能
①取締役会の構成	①取締役会の監督機能
②取締役会の運営	②取締役会のリスク管理体制
③取締役会に対する支援体制	③取締役会の議論の状況
④取締役会での関与の状況	④役員の指名・報酬関連

## 役員報酬

### 報酬内容の決定に関する方針

当社の役員報酬は、中長期的な企業価値の増大につなげることを主眼に置いた報酬体系としています。

社外取締役を除いた取締役の報酬は、各事業年度における業績の向上、および中長期的な企業価値の増大に向けて職責を負うことを考慮し、会社業績の向上や役員との連動性を高め、月額報酬と賞与で構成しています。

月額報酬は、各取締役の職位に応じて、経営環境などを勘案して報酬額を決定し、賞与は、当事業年度の当社グループの業績・担当部門の業績、および個人の業績評価に基づいて決定しています。

社外取締役および監査役の報酬については、国内外の同業または同規模の他企業との比較および当社の財務状況、経営成績を踏まえて設定した固定月額報酬を支給しています。

### 役員報酬等の決定方法

役員報酬は、株主総会において取締役および監査役に区分して決議された、各々の総額の範囲内において各役員に配分するものとし、その報酬については社外役員を中心とした指名・報酬委員会での妥当性について審議した後、取締役会で決定しています。

監査役の報酬については、社外監査役2名を含む監査役の協議により決定しています。

また、当社では役員退職慰労金制度を設けています。当該支給額には基準を設けており、在任中の各年度に毎期積立額を引当計上しています。

### 役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額および対象となる役員の員数

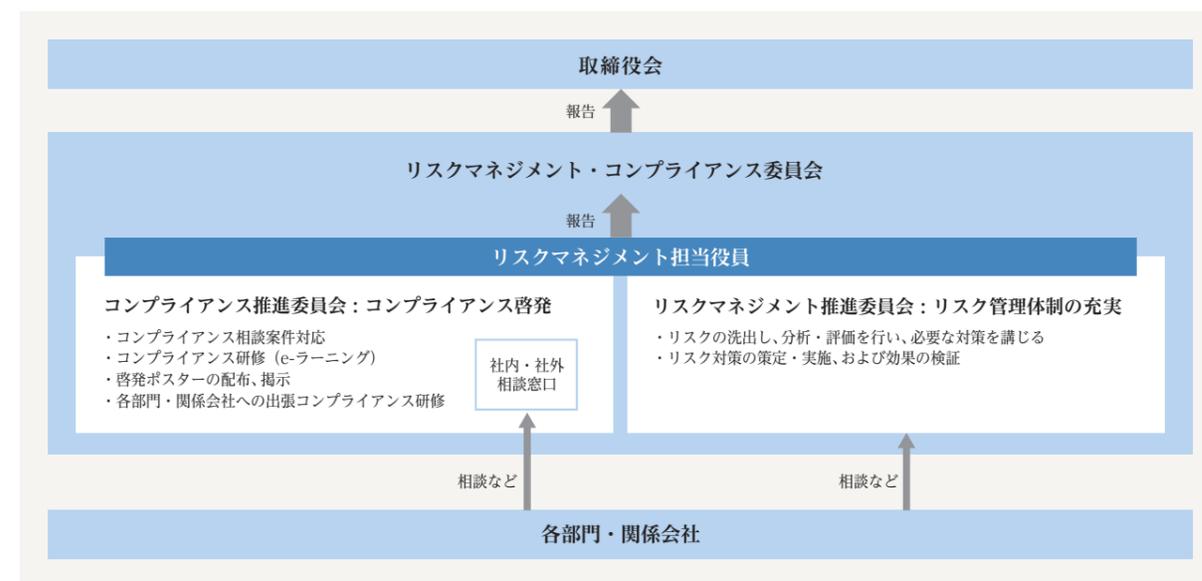
役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額(百万円)			対象となる 役員の員数 (名)
		固定報酬	業績連動報酬	役員退職慰労 引当金繰入額	
取締役(社外取締役を除く)	581	136	173	271	11
監査役(社外監査役を除く)	46	43	—	3	2
社外役員	37	37	—	—	4

### 報酬等の総額が1億円以上である者の報酬等の総額等

氏名	役員区分	会社区分	報酬等の種類別の額(百万円)			報酬等の総額 (百万円)
			固定報酬	業績連動報酬	役員退職慰労 引当金繰入額	
小林 一俊	取締役	株式会社コーセー	56	137	215	409

## リスクマネジメント・コンプライアンス

### リスクマネジメント・コンプライアンス体制図



当社における「コンプライアンス」とは、法令遵守のみならず、「正しきことに従う心」をもって社会的倫理に則った行動をとることをいいます。コンプライアンス推進体制および活動は、リスクマネジメント・コンプライアンス委員会を通じて、定期的に取り締役に報告され、コンプライアンス推進委員会は取締役・従業員に対する研修などの啓蒙を行います。社内外に通報窓口を設け、報告・相談に対応する体制も整えています。

また、当社の持続的発展を脅かすリスク、特にコンプライアンス・品質・情報セキュリティ・市場の問題や、災害発生などさまざまなリスクに対処すべく、リスクマネジメント・コンプライアンス規程を定め、リスクマネジメント推進委員会を設置してリスク管理体制の充実に努めています。また、危機管理規程のもと、重大なリスクが顕在化した場合に被害を最小限に抑制する体制を構築しています。

#### 取り組み内容

##### リスクマネジメント説明会

各種法令や環境変化の情報共有の場として、役員・管理職・監督職に向けて、説明会を毎年開催しています。全社的なリスクマネジメント・コンプライアンス推進活動の定着を目的に、近年の事例を取り入れながら、周知徹底の取り組みを継続しています。

##### コンプライアンス研修

2008年より毎年、コンプライアンスにおける重要なテーマを設定し、コーセーグループの従業員に対して、e-ラーニングまたは配布物を用いた教育を行っています。また、美容スタッフ向けの啓発や、対象者別研修として受講者に合わせた内容を選定し、周知徹底しています。

#### ▶ 詳細

コーポレート・ガバナンスおよびリスクマネジメント・コンプライアンスに関する詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.kose.co.jp/company/ja/csr/management/>